

## 第2回与論町新庁舎建設計画 に関する住民説明会

日時 平成28年11月22日 18:30～  
場所 与論町地域福祉センター ホール

### 会 次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶 与論町長 山 元宗
- 3 役場新庁舎の建設予定地について
  - ① 概要説明 庁舎建設検討委員会 久留委員長
  - ② 詳細説明 総務企画課
  - ③ その他
- 4 質疑応答
- 5 閉 会

## はじめに

・この説明書は、役場新庁舎の建設場所について、庁舎建設検討委員会において協議されたことなどについてまとめたものです。

・庁舎建設検討委員会で協議した結果を町民の皆様にご報告し、最終的な建設場所の決定に繋げてまいります。

## 与論町庁舎建設検討委員会

- 平成26年5月19日施行(27日発足)
  - 与論町庁舎建設検討委員会設置要綱を制定
  - ・検討委員会で協議すること
    - (1)庁舎建設の基本構想に関する事項
    - (2)庁舎建設の基本計画に関する事項
    - (3)庁舎の建設位置に関する事項
    - (4)その他庁舎建設に関して必要な事項

2

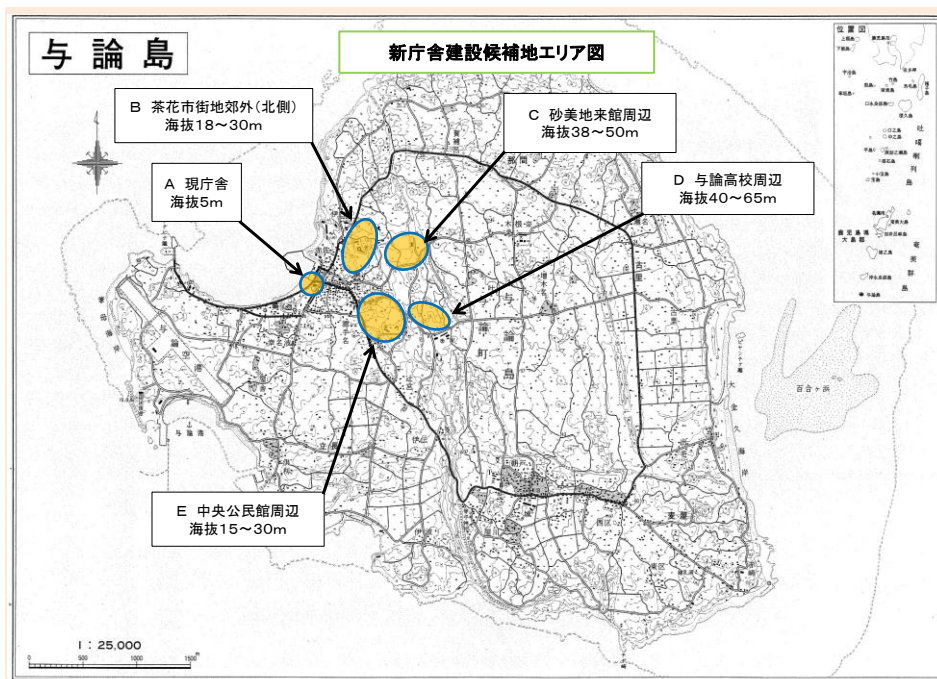
- 検討委員会の委員
  - ・各種団体長 23名 ・副町長、教育長
  - ・役場課長 3名 合計 28名
- これまでの開催経過と検討事項
  - ・第1回 平成26年5月27日 アンケート集計結果について等
  - ・第2回 平成26年7月 1日 現庁舎の耐震診断結果、鹿児島県地震等災害被害予測調査結果等
  - ・第3回 平成26年9月 2日 新庁舎整備に係る概算事業費、概算事業費の財源等
  - ・第4回 平成26年12月4日 新庁舎建設候補地のエリア検討等
  - ・第5回 平成27年2月23日 庁舎建設候補地の評価等
  - ・第6回 平成28年2月 2日 庁舎建設候補地(エリア)の選定今後の進め方(方針)等
  - ・第7回 平成28年7月 4日 庁舎建設候補地の現地調査新庁舎建設候補地の絞り込み
  - ・第8回 平成28年11月9日 新庁舎建設予定地の決定

3

## 庁舎建設検討委員会において 建設候補地を5箇所に絞り込み検討

- 候補地選定の方法  
検討委員会の意見、アンケート調査結果、  
原野、雑種地等の集積地を考慮。
- 建設候補地
  - A 現庁舎の場所
  - B 茶花市街地郊外(北側)
  - C 砂美地来館周辺
  - D 与論高校周辺
  - E 中央公民館周辺

4



5

## ○ 評価指標の設定

- 1 利便性: 町民が新庁舎へ来庁する際の交通の利便性、茶花市街地で用事がある場合の利便性、他の公共施設との利便性、島外の人に対する利便性等
- 2 安全性: 津波や地震等の防災面での安全性、道路交通の点からの安全性等
- 3 貢献性: 街なみ形成、賑わい創出、地域活性化への貢献度等
- 4 将来性: 将来的に今よりも利便性や貢献度が増す可能性があるか等
- 5 実現可能性: 町民の理解が得られるか、用地取得の可能性はあるか、建設費用が現実的な規模であるか等

6

## 庁舎建設検討委員による評価結果

第5回庁舎建設検討委員会において庁舎建設候補地のエリア選定を行い、21名の委員に候補地の評価をしていただきました。

- 項目 利便性、安全性、貢献性、将来性、実現可能性
- 評価結果
 

A 現庁舎	291点
B 茶花市街地郊外	310点
<b>C 砂美地来館周辺</b>	<b>398点</b>
D 与論高校周辺	347点
<b>E 中央公民館周辺</b>	<b>378点</b>

7

## ○第7回庁舎建設検討委員会

庁舎建設検討委員の評価が高かった2箇所の現地調査及び意見交換の結果

### 1 砂美地来館周辺

検討委員の評価で最も点数が高かったエリア

- ・砂美地来館周辺の用地については、地権者との交渉が前に進まないという意見が多く、予定地とした場合に実現できるか不透明である。

8

### 2 中央公民館周辺

検討委員の評価で2番目に点数が高かったエリア

- ・旧町立診療所の用地を活用すれば、町の財産の活用、用地交渉が省ける。
- ・標高が30mを超えるので津波に対する安心感。
- ・駐車場については、周辺用地が確保できないか。
- ・道路が狭いので拡張が必要では。
- ・商店街との距離感、人の流動性は良いのでは。

### ○検討結果

旧町立診療所を中心に用地確保の検討や建設シュミレーションを行う。

9

## 旧町立診療所用地を新庁舎建設予定地とした 用地確保の検討や建設シュミレーション

### ○建設予定地の調査結果

#### 1 施設の現況及び用地面積

##### (1)施設の現況

施設名称	旧町立診療所	医師住宅	地域包括支援センター	保健センター
現況	鹿児島大学へ貸付け	一般住宅	町利用	町利用
構造	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート 2階建て
建築年度	昭和53年	昭和53年	昭和56年	平成2年
築年数	38年	38年	35年	26年
延床面積	817.55㎡	165.00㎡	198.00㎡	513.00㎡

10

##### (2)用地面積

施設名称	地番	面積(㎡)
旧町立診療所・医師住宅・ 駐車場	1418-1	4,140.56
地域包括支援センター	1484-1	800
駐車場	1496	631.29
保健センター	1491	622
合計 (保健センターを除いた合計)		6,193.85 5,571.85

#### 2 駐車場用地の取得可能性

旧診療所用地に新庁舎を建設した場合、同敷地内は来客及び緊急車両等の駐車スペースしか確保できないため、隣接地の用地が取得可能か調査した。

旧診療所の西側に面した現況原野の土地で標高は20m～25m程度。地権者と面談でき、前向きな回答をいただいた。

11

### 3 防災性

敷地の安全性、災害時や復旧活動時など防災拠点として機能できるか。

#### (1)標高及び海岸からの距離

保健センターの標高は32.5m

鹿児島県地震等災害予測調査の奄美群島太平洋沖(南部)地震による津波の遡上高4.69より27.81m高い位置にある。  
海岸(茶花)までの距離は860m。



## (2)断層の確認

活断層は直下型地震を引き起こすとされている。

旧町立診療所は断層帯から少し離れている。

- ・ 参考文献「200万分の1日本列島活断層図」

14

活断層及び推定活断層の分布図





#### 4 利便性

茶花市街地及び県道からも近く、中央公民館、保健センター・包括支援センター等公共施設も集積しており、子育て世代から高齢者まで幅広い年齢層の利用があり、分かりやすい場所にある。

#### 5 駐車場の確保及び幹線道路へのアクセス

(1)駐車場用地については、隣接する民有地を取得予定であり、来庁者用、公用車・職員用として十分な敷地が確保できる。

16

(2)旧町立診療所から幹線道路(県道)へのアクセスは、現道路幅では緊急時の消防車の通行に支障をきたす恐れがあることから、民有地の取得交渉を進め道路を拡幅する予定である。

また、緊急時に茶花小学校や茶花産業道路側からの避難がスムーズに行えるよう、県道から保健センターへの道路を新設整備する予定である。

17

## 6 公共用地の有効活用

与論町公共施設総合管理計画において、既存施設の有効活用、廃止となった施設の売却、除去、施設の統合・複合化を進め、将来負担の軽減を基本的な考え方としており、旧診療所及び医師住宅、包括支援センター等の旧建築基準法で建設された施設用地の有効活用及び本庁舎への統合を進める。

18

## ○建設シュミレーション

### 1 建設用地について

#### **役場新庁舎建設シュミレーション参照**

#### (1) 予定する庁舎規模の敷地を確保できるか？

旧町立診療所、医師住宅及び包括支援センターの敷地面積が5,571.85㎡あることから2階建て以上の庁舎であれば十分な敷地を確保できる。

#### (2) 駐車場の確保

旧診療所の隣接地を取得する。

高低差があるが職員用駐車場として十分な面積を確保できる。

19



## ○第8回庁舎建設検討委員会

旧町立診療所用地を新庁舎建設予定地とした用地確保の検討や建設シュミレーション結果を協議しました。

### ◎協議結果

庁舎建設検討委員会として旧診療所用地を中心とする一帯を、役場新庁舎建設予定地として決定する。

22

## 新庁舎建設場所の最終決定

平成28年 7月	第1回住民説明会
平成28年11月	第2回住民説明会
平成29年 2月	第3回住民説明会
平成29年 3月	与論町新庁舎建設 基本構想(案) パブリックコメントの実施
平成29年 3月	基本構想の策定

23

## 終わりに

役場新庁舎建設にあたっては、  
町民の皆様のご理解・ご協力をい  
ただき進めて参りたいと考えてお  
ります。

今後の住民説明会につきまして  
も、引き続きご協力いただきますよ  
うお願いします。